

2007年7月

お試しエコドライブの記録

(大阪星友運輸株式会社)



「お試し」無事終了。お疲れ様。これからも安全運転で…

- | | |
|------------|----------------------------|
| 2007年2月 | 「お試しエコドライブ」事業申し込み |
| 2007年2月13日 | 事業について説明 運行管理者（此下様）上田、浅羽常務 |
| 2007年4月10日 | デジタコ取り付け（2台） |
| 2007年4月24日 | 第1回ヒアリング |
| 2007年5月11日 | 音声指導開始の準備作業 |
| 2007年5月25日 | エコドラ交流会①～ドライバーヒアリング |
| 2007年6月12日 | エコドラ交流会②～社長、運行管理者ヒアリング |
| 2007年7月2日 | 表彰式 |

■お試しエコドライブ参加事業所シート

取付機器／デジタルタコグラフ

事業者名	大阪星友運輸株式会社	連絡担当者	此下かずさ
住所	〒大阪府門真市上馬伏605-1		
連絡先	TEL : 072-884-6373	FAX : 072-884-6014	e-mail :
事業内容	一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業		
従業員数(全社員)	26(名)	うちドライバーの人数 : 21(名)	資本金 : 1000万(円)
保有車両台数	22台		
営業用貨物 (軽自動車除く)	最大積載量 4 t 未満	21	
	最大積載量 4 t 以上		
	被けん引車(注1)		
営業用乗用車	1台		
<p>社内でのエコドライブに関する取り組みについて当てはまるものに○印を記入下さい。</p> <p>①ドライバー向けのエコドライブに関する社内研修を実施、又は、社外研修への参加を推奨 (<input checked="" type="radio"/>) ・ <input type="radio"/> いいえ)</p> <p>②社内で最高速度制限、アイドリングストップなどのルールづくりを行っている (<input checked="" type="radio"/>) ・ <input type="radio"/> いいえ)</p> <p>③現在、車両単位での燃料消費量に関する管理を行っている (<input checked="" type="radio"/>) ・ <input type="radio"/> いいえ)</p> <p>④ISOやグリーン経営認証など環境経営に関する認定制度に登録している (<input checked="" type="radio"/>) ・ <input type="radio"/> いいえ) →「はい」と答えた方は、認定制度名をご記入下さい→ (グリーン経営)</p> <p>⑤既に、車両運行管理・走行支援機器を導入している (<input type="radio"/> はい ・ <input checked="" type="radio"/> いいえ) →「はい」と答えた方は、機器名及びメーカー名をご記入下さい→ ()</p>			

<事業者アンケートから>

(はい1・いいえ0)

問1 : 以前からエコドライブについて興味を持っておられましたか? 1

問2 : お試しエコドラ参加の動機 (重要性大5→重要性小1)

環境～4 燃費～5 安全～5 運行管理～5

問3 : 荷主は固定客が多いですか、不特定客が多いですか? 同じくらい

問4 : 1運行ごとの貨物積載量のデータはとっていますか? (緻密なデータはとっていない)

問5 : 荷主からアイドリングストップなどエコドラ推進の要求はありますか? 1

・ 社内の最高速度制限 一般道～60km/h 高速道～100km/h

・ 時間遅延に対するドライバーへの罰則 なし

■第1回ヒアリング

日時：07年4月24日 10:30-11:30

場所：大阪星友運輸（大阪府門真市）

参加（敬称略）：石田(星友運輸社長)、此下(運行管理者)、田中(浅羽計器)、上田、小平

□デジタコ装置車について

■設定

- ・ 4月10日取り付け現在は、音声指導は無(2~3週間)
- ・ 速度設定一般道 70km/時、高速道 90km/時

■対象車・ドライバー

ドライバー	メーカー	重量	ドライバーの性格	運転特徴	トラック特徴	現在数値	目標数値
藤井	HINO 新長期 対応車	4t	よく話す。デジ タコの結果等も 報告してくる。	とぼす。高速道路を よく利用する。	黒煙が出ない車種。 その代わり、軽油を 使う。燃費より環境 優先した車種。	4.5~ 5	?
楠本	?	4t	あまりしゃべる 方ではない。	一般国道をよく利用 する。けれど燃費は あがらない。		5 前 後	5.5

■対応者の運行形態

- ・ スポット配送。
- ・ 長距離。2日~4日の行程で動く。

■実施の理由・期待

- ・ 運行形態が対照的なドライバーを2人選んで取り付けた。
- ・ 4t車は危険が伴う(安全運転につなげてほしい。)
- ・ トラック事業所にとって、燃費と無事故が最優先。
- ・ 高速で飛ばすと、体も大変。2ヶ月間、体験する中で、エコドライブ(安全運転)すると体が楽であることを体験してほしい。

■現状

- ・ 以前は言ってもなかなか改善されなかったが、フジイ号についてはかなり意識しているようだ。

■今後の流れ

- ・ 連休明けから音声指導に切り替え。
- ・ 音声指導に切り替えて1週間程度でワークショップを実施し、エコドライブの意義・目的や運転方法などを、確認する場を設ける。
- ・ ワークショップをドライバー2名が同時に実施することは、調整すれば可能。

- ・ ワークショップには、運行管理者とできれば社長の出席も要請。

□石田社長の発言より

■社内研修・講習の実施

- ・ 4～5人、事務所などにいるとき声をかけ、ビデオなどを見せる。
- ・ その場に応じてざっくばらんに実施している。

■トラックの買い替え

- ・ 7～8年周期で、計画的に実施。以前は6年周期で買い替えていた。

■高速道路の利用費用の負担

- ・ 基本はドライバーが負担。その時や場合などにより、会社が負担する。

■その他

- ・ 自動車 NOx・PM 法の事業所に対する車両規制実施の対象地域が、一律ではないのはおかしい。大阪が厳しいので、奈良や京都に事務所を移す事業所があるのも理解できる。何の解決にもなっていない。
- ・ 石田社長自身、トラック運転手の経験有り。トラック運転手の経験があるからこそ、ドライバーの気持ちがわかる反面、厳しく指導できないことが悩み。

■エコドライブ交流会①

「お試しエコドライブ」実践中！ドライバーさんによる交流会（ワークショップ）の記録

大阪星友運輸株式会社 藤井さん、楠本さん **エコドライブ奮戦記**

実施日 2007年5月25日（金）午後1時30分～3時00分

参加者 ドライバー 藤井 茂さん

楠本正志さん

運行管理者 此下さん

進行 あおぞら財団 上田（進行補助・小平）

●がんばりました！「お試しエコドライブ」の成果

実施期間 2007年4月10日～6月12日（音声指導開始 5月12日）

	音声なし（4月）	音声あり（5月）	向上率
藤井 茂	4.903 km/L	5.395 km/L	10.03%
楠本 正志	4.584 km/L	5.017 km/L	10.62%

（設定速度 一般道～70km 高速道～90km）

<ドライバーさん大いに語る>

■苦労しました。腹が立つこと、困ること

- ・音声指導はうっとおしい。何回も繰り返されるとつらい。
- ・制限速度を守ると仮眠時間が減る。
- ・到着時間が気になる。30分×4回休憩でも2時間。守るのはたいへんだ。
- ・店着時間とエコドライブの狭間で悩んでしまうことがある。
- ・制限速度で走るとあおられる。国道19号など、夜中はやっぱりつらい。
- ・いやがらせを受けた。後ろにベタつきで車間を詰めてくる。
- ・あおられても知らんぷりするようになっている。
- ・スピード上げている方が眠くならない。
- ・時間指定があるとエコドライブができないことがある。
- ・荷主の時間設定には仮眠時間が入っ



ていない。

- ・エコドライブへの荷主の理解が必要だ。
- ・なんでゆっくり走っているのか知らせられない。
- ・すべてのトラックにデジタコが標準装備されるといい。

- ・気をつけているのだが燃費が伸びない。

■エコドライブの効用

- ・身体が楽になった。
- ・スピードを上げると視野が狭くなるので危ない。

■安全運転への思い

- ・車内に家族の写真をおいている。中学生2人、2歳、生まれたばかりの子ども4人。写真を見ると落ち着く。土産を買って帰ると～パパの元気な顔が一番！と言われる。
- ・高速代金が自己負担なので基本は使わない。
- ・長時間過ごす所なので、装備は凝っています。ダッシュボード、ライトは発光ダイオード。
- ・ハンドルカバーとシフトレバーは別注仕様。

- ・乗用車にも無茶な運転するのがいる。

■燃費こと、業界のこと

- ・社長に燃費が悪いと言われた。リッター5kmをめざしているが、なかなかでない。
- ・努力しているのだが…なんかご褒美あるのかなあ？



■エコドライブ交流会②

石田信行社長と運行管理者の此下かずささんに聞きました。

実施日 2007年6月12日（火）午後1時40分～3時10分

参加者 石田社長、此下さん、田中さん（浅羽計器）、内藤さん（インターン生）

進行 あおぞら財団 上田

●「お試しエコドライブ」を取り組んで

石田社長 「お試し」に参加させた2人は、運転に関して他のドライバーとは違ってどうしても結果（燃費向上）が出なかった。当社では4トン車でリッター5kmはふつう。5.5kmはめざしてほしい。6kmを出すドライバーもいるのだから。

でも今回取り組んでみて、「やろうと思えばできる」ことが分かった。プロ意識があるということかな。

これまで注意していたのだが結果につながらなかった。自分らで努力したことがよかった。あきらめずに指導すればいい方向になるということがわかった。燃費向上は重要だが、無事故・安全が大事だ。一度、事故を起こしたら努力も水の泡になる。アイドリングストップにも取り組んでいるが、夏場の休憩時間にエンジンを切れというような酷なことはいえない。

目の届かないところを機械（デジタコ）にお願いして改善できるということだが、顔を合わせて会話することに効果があるようだ。ドライバーの取り組みが写真付きで紹介されたのも励みになっている。2人だけのものにしないで、全社員に配りたい。高得点がつづいて、A評価が増えてきた。デジタコをはずすと効果は多少落ちるかもしれないが、維持できるのではないか。

安全が確保できないのは、荷主が「安全」を買う気がない、コストをみてくれないと言う点がある。荷主の性で積み込みが遅くなったら、到着時間を守ることができない、といている。我が社の場合、帰路の荷物を運んでやっと経費が出せる。睡眠時間を削ってまでドライバーを無理させられない。「安全のコスト」を荷主が負担せずに運送業者に全部かぶせて「値切る」→無理して走る→長時間連続運転→重大事故の発生、と悪循環する。

今回の取り組みで、今まで見えなかったものが見えるようになった。僕らだけではできなかったことをやって頂いて感謝している。

●「お試しエコドライブ」でご苦勞をかけたドライバーさん2人に、あおぞら財団と社長の連名で表彰状をお渡しすることにしました。

●運行管理者／此下かずさんの感想

これからも一緒に安全運転で

「やるときはやる！」この一言を2ヶ月間貫き通し、プロドライバーとしての自負と、意思の固さ、根性を会社に見せつけてくれて、とてもびっくりさせられたのと同時にとても頼もしく感じられた2ヶ月間でした。

数々のハプニングと苦労の連続のなか、途中で諦めないで試行錯誤しながらも自分のペースを上手くコントロールし、戸惑いながらも根気よく継続して実践して協力してくれた藤井さんと楠本さんに本当に感謝しています。

エコドライブや地球環境・CO2 排出量なんて難しい事は詳しくわからなくても、ただ元気に事務所へ帰ってきてくれさえすれば本当はそれだけでとっても嬉しいのです。

でもそのためにはエコドライブ走行を心がけて運行することが一番「安全な状態」へもっていくことへの鍵となることに気付いて欲しかったのです。

今回のお試しエコドライブを全面的に支えて下さった、あおぞら財団さんと浅羽計器さんには本当に感謝致しております。

そして社内の誰よりも一番頑張ってくれた藤井さん・楠本さん本当にどうもありがとうございました。これからも一緒に安全運転で頑張りましょうネ。

余談ですが…。

少しほっこりとした気持ちになれた出来事。

お試しエコドライブの実践中、運行途中のPAで寝坊してしまい、朝一番に電話連絡をくれたのですが、開口一番「エコドライブ走行が出来ません〜！」とエコドライブの話が出たときは「事故ではなくて良かった」と安心した気持ちと同時に、「こんな時にまでエコドライブ走行の心配をしてくれて…」と、少し嬉しい気持ちになりました。



整備点検も欠かさず…。

半年前の
63-78 藤井号。



Let's Go エコドライブ交流会

2007年5月25日(金)午後1:00～

大阪星友運輸株式会社

積荷の安全と無事故は乗務員のプロの技が支えています。今回みなさまに取り組んでいただいているエコドライブは、安全運転を続けることにも役立っています。

大阪星友運輸では、お二人に「お試しエコドライブ」に挑戦して頂いています。

デジタコを搭載したエコドライブは4月10日にスタート、藤井様も楠木さまもとても意欲的に取り組んで頂き、安全運転ランキングでは高得点を出しておられます。

今日は、ご苦勞をおかけしている乗務員のみなさまに、この間の体験を聞かせて頂き、運行管理者様を交えて「エコドライブ」について率直に自由に語り合う場です。どうかよろしくお願ひ致します。

■すすめかた

テーマ	内容	備考
Let's Go エコドライブ交流会 について お互いを知ろう	自己紹介カードの記入 自己紹介	自己紹介カード ①氏名②ドライバー歴 ③最近ハマっていること ④エコドライブに一言
エコドライブをやってみて ①デジタコに一言	うるさい？デジタコ 分かってほしい！俺たちの苦勞	肉声を書き出す (ポストイット 赤色) 模造紙 水性マーカー
エコドライブをやってみて ②気づいたこと	こうすればハイスコア デジタコ黙らせ術？ 俺だけが知っている裏技・秘密	肉声を書き出す (ポストイット 黄色)
あしたからどうする 何ができるか？ ③あなたが主役	続けるには何が必要か 足りないこと やってほしいこと	提案を書き出す (ポストイット 緑色)
ふりかえり	交流会のまとめ 感想を出し合う	エコドライバーの声を記録する

①氏名

③最近ハマっていること

②ドライバー歴

④エコドライブに一言

■体験してみませんか？「お試しエコドライブ」～ただいま参加事業者募集中！

◆お試しエコドライブの結果

* 2006年度は、神戸のK運送、大阪・貝塚市のY運輸が参加。それぞれ2台のデジタコを装着して、以下のような結果が出ました。

①デジタルタコグラフ（地球環境基金を活用）

■K運送（いずれも25t超トレーラー）実施期間06年11月～07年1月

	従前運転	エコドライブ期間	燃費向上率(%)
	燃料(km/h)	燃料(km/h)	
A車	2.625	2.182	—
B車	2.137	2.579	20.7%

* 取り付け期間 2006年11月14日～2006年12月14日

* 参考 A車の場合、取り付け期間を含む11月の平均燃費は2.580km/h、前月10月の平均燃費は、2.176km/hとなっている。

■Y運輸（いずれも10t車）実施期間06年11月～07年1月

	従前運転	エコドライブ期間	燃費向上率(%)
	燃料(km/h)	燃料(km/h)	
A車	2.829	3.015	6.6%
B車	データとれず	—	—

②燃費マネージャー（大阪府環境農林水産部環境管理室交通環境課の協力）

■東光サービス（ミニバン～トヨタポルテ1.29L）実施期間06年10月～07年2月

	装着前（平成18年度）	装着後（平成18年度）	燃費向上率(%)
	燃料(km/h)	燃料(km/h)	
A車	7.19	8.24	14.6%

◆「お試し」後、Y運輸は保有する全車(24台)にデジタコを導入しました。

◆K運送のヒアリング(2006年1月22日)には、デジタコを体験したドライバーだけでなく16人のドライバーが社長を囲みました。

- ・連続走行の警告も出るが、なかなかできない。昨夜も尾道から休憩無しで帰ってきた。歩合でやっているから仕方がない。
- ・トラックメーカー、積荷の状態によって条件が変わる。急発進を警告されても基準が分からず対応できない。
- ・ゆっくり走っていて前に入られると腹が立つ。わざとねじ込んでくるやつもいる。

- ・クルマの流れに乗ることも大事や。一車線の幹線道路で夜中でも60km/hで走るのは、周りに迷惑。
 - ・アイドリングが多いといわれたが、冬場にエンジンを切れというのは酷や。
 - ・トラックは会社にもうるさくいわれるからゆっくり走っている。乗用車はぜんぜんかまっていない。
- *率直なやりとりに耳を傾けていた社長は、「去年から今年にかけて取り組んだ燃費向上の取り組みで、0.2km伸びている。君たちドライバーの意見もよく聞いて考えていきたい」と話しました。

◆Y運輸とあわせた「お試しエコドライブ」、39社315台のトラックが参加したNEDO事業から見えるエコドライブ推進のポイントは…

①：社長の参加

- ・トップの本気、姿勢が成果を左右します。ドライバーへの信頼がドライバーのモチベーションを高めます。

②：主人公はドライバー

- ・エコドライブを実際にやるのはドライバー（「人財」）。ドライバー一人ひとりが自分の課題としてエコドライブに取り組めることが肝心です。

③：双方向コミュニケーション

- ・エコドライブへの取り組みを維持・継続するには、ドライバー自身が直面している問題を引き出し、解決をめざす行動を生み出す参加型会議が欠かせません。

●「お試しエコドライブ」事業

本事業は地球環境基金の助成をうけて

中小運送事業者のみなさまに「エコドライブ体験」をしていただくエコドライブ支援機器の「お試し」(無料貸し出し)システムです。

●**実施項目** 次の1～3ができる事業者を募集します。

1. デジタルタコグラフ(矢崎製)を対象車両(3台まで)に1～2ヵ月間搭載する。
2. 貸し出し期間前後の走行距離と燃料使用量を記録する等データを提出する。
3. エコドライブの推進、普及・啓発に協力する。

*燃費マネージャー(大阪府との協同)の貸し出しもあります。

●**募集期間** **2007年4月～2007年12月**

●応募方法

募集要項と申請用紙は、(財)公害地域再生センター(あおぞら財団)までご連絡ください。

●問い合わせ

(財)公害地域再生センター(あおぞら財団)

〒555-0013 大阪市西淀川区千船1-1-1 あおぞらビル4階

電話 06(6475)-8885 ファックス 06(6478)-5885

担当/上田・小平

■ドライバーと一緒に Let's Go エコドライブ

2007.4 あおぞら財団

●エコドライブのすすめ～3つのポイント

- ①：社長の参加（トップの本気が成果の源泉）
- ②：主人公はドライバー（「人財」が支えるエコドライブ）
- ③：双方向コミュニケーション（よりよい行動を生み出す参加型会議）



●「お試しエコドライブ」プログラム

	実施すること	テキスト／提案など	手法／すすめかた
【1】事前説明	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブとは ・これまでの成果を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇得エコドライブ(ビデオ) ・社長からはじめるエコドライブの手引き ・リベラ特集号 (No. 91.95) 	<ul style="list-style-type: none"> ①説明会 ②事業現場で説明 ③事業所アンケート
【2】「お試しエコドライブ」のルールづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法を検討 ・運行管理者とドライバーとのコミュニケーション方法を検討 ・カードの取り扱い、データ管理方法を決める ・機器の取り付け ・基準値の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブのすすめ ・「お試しエコドライブ」報告 	<ul style="list-style-type: none"> ①ドライバーの選任 ②過去の燃費データの把握 ③機器取り付けの調整 ④カード管理、データ管理方法を決める ⑤設定値の確認・設定
【3】「お試しエコドライブ」の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバー、運行管理者への説明 ・慣行（普段の）運転の開始（2～3週間：音声指導なし） 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇得エコドライブ（ダイジェスト）（ビデオ） 	<ul style="list-style-type: none"> ①走行距離・燃料記録表 ②データの管理 ③エコドラグッズ貸出
	<ul style="list-style-type: none"> ・音声指導開始（3週間～1ヶ月：音声指導あり） ・ドライバー、運行管理者ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Go エコドライブ ・現場からの声（ビデオ） ・安全運転日報をもとに双方向コミュニケーションの実施（社長の参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ①走行距離・燃料記録表の記入 ②ドライバー同士の交流・自己点検（ワークショップ）
【4】成果の検証、課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・約2ヶ月の取り組みを検証する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーの誇り形成 ・双方向コミュニケーションの定例化 	<ul style="list-style-type: none"> ①運行管理者、ドライバーによるふりかえり
【5】機器の取り外し、報告まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「お試しエコドライブ」報告 ・燃費から安全へードライバーとつくる〇得事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの確認 ・これからの課題抽出 ・ドライバーによるエコドライブ推進グループづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①研究会への参加 ②エコドライブの推進協力